

	2014 年度結果	評価	2015 年度目標
■新たなエコ・ファーストの約束を締結することができた	○	■エコ・ファーストの約束達成のための環境実施計画年度目標を達成する	
■エネルギー、廃棄物排出状況、レジ袋削減、排水質管理、リサイクルなどの管理システムにより、目標管理を実施	○	■環境マネジメントシステムの範囲を府県ごとに1店舗登録認証範囲拡大を目指す	
■照明器具にLEDを設置し、食品売り場の冷凍ケースに扉付き（リーチイン）を導入した	○	■新店、改築店舗に有効な環境機器を導入し、その効果を測定する	
■コンセプトや容器包装の見直しを実施。開発商品は構築中 2014年ecolon 売上 8億円（77.7%）	×	■環境配慮型PB商品ecolonの容器包装と開発コンセプトの見直しを実施。開発商品数および売上げ拡大を図る	
■カーボンフットプリントの算出ができなかった	×	■環境配慮商品のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見える化し、お客様に訴求する	
■実排出係数では6%削減したが、調整後排出係数では19%増加	×	■CO ₂ を原単位で1%削減する	
■全店で省エネ委員会を開催	○	■店舗エネルギー管理者に省エネ教育を実施	
■電気使用量 941,903千kwh (96.2%) △3.8% ■ガス使用量 22,186千m ³ (98.2%) △1.8% ■石油使用量 6,368千ℓ (84.3%) △15.7%	○	■使用エネルギーを1%削減する	
■輸送距離1%削減、輸送量 2.2%削減、エネルギー使用量 1.1%削減	○	■物流の合理化による環境負荷低減を図る	
■前年比 97.9% △2.1%	○	■段ボール 2%削減	
■バイオマスプラスチック製容器の店頭回収、再生製品を作製	○	■PB商品の容器包装を見直し、包装資材の軽減化、バイオマスプラスチック製容器包装拡大を図る	
■レジ袋 616t (75%)△25% ■包装紙 138t (93.9%)△6.1% ■紙袋 152t (92.7%)△7.3%	○	■包装資材3%削減	
■2014年2月20日全店の食品売り場で無料配布中止	○	■辞退率向上を図る	
■全店有料化店舗 100%達成 ■全社換算 86.0%	○	■レジ袋辞退率 80%目標 (2018年までに85%達成を目指す)	
■廃棄物総排出量 1.5%削減 ■廃棄物処理場、リサイクル現場を確認	○	■廃棄物排出総量 前年比 2%削減	
■営業店舗所在地1府18県でリサイクルループを構築（福島県を除く） ■リサイクルループ参加店舗 135店舗	△	■リサイクルループに周辺店舗を組み入れ、規模の拡大を図る ■リサイクルループ参加店舗 145店舗実施	
■リサイクル率 60.0%	△	■リサイクル率 61.0%	
■発生抑制 24.9%（2007年度比）	△	■発生抑制 △25.0%（売上100万円当たり33kg）	
■再生利用等実施率 69.7%	△	■再生利用等実施率 70.0%	
■牛乳パック 542,743kg (93.3%) ■トレイ 280,492kg (96.2%) ■アルミ缶 605,198kg (101.4%) ■ペットボトル 2,126,669kg (99.1%) ■リサイクルボックス回収実績 1.7%減少	△	■リサイクルボックスの回収品目を増やす ■全店4品目を回収する ■リサイクル回収量を増やす	
■透明プラスチック容器回収は未実施	×	■一部店舗で透明プラスチック容器を回収リサイクルする	
■PB商品の容器包装見直しに着手した	△	■使用品目を増やす	
■店頭回収141店舗で実施	○	■店頭回収を拡大する	
■環境学習テキストを発行 ■ecolonなどの情報を掲載 ■環境掲示板の設置を標準化	○	■環境学習DVD作成 ■チラシ・POPなどで環境配慮商品を紹介し、拡販する ■新しいポスターを作成し、さらに情報提供を進める	
■エコ博、環境展を開催 10店舗 ■全店実施	○	■未実施店で開催する ■クリーンアップキャンペーン全店で年2回実施	
■テナントの廃棄物分別教育を実施		■店舗の省エネ教育を実施	
■子ども環境学習120回、農業体験8回実施		■子ども環境学習120回、農業体験8回実施	
■エコ博を9店舗で10回、エコフェスタ6回実施 ■メッセナゴヤ、EPOCに参加・ESD国際会議ブース出展	○	■エコ博を10回開催、エコフェスタ4回実施	
■講演会、リサイクル施設見学会2回実施		■環境関連事業者連絡会セミナー開催	
■水質検査の実施と排水管理マニュアルの徹底 ■排水水質検査全店実施、基準値以内法令遵守 ■適正管理の実施	○	■全店舗での排水水質監視を実施 ■低濃度PCBの適正管理実施 ■フロン排出抑制法対応を実施	

